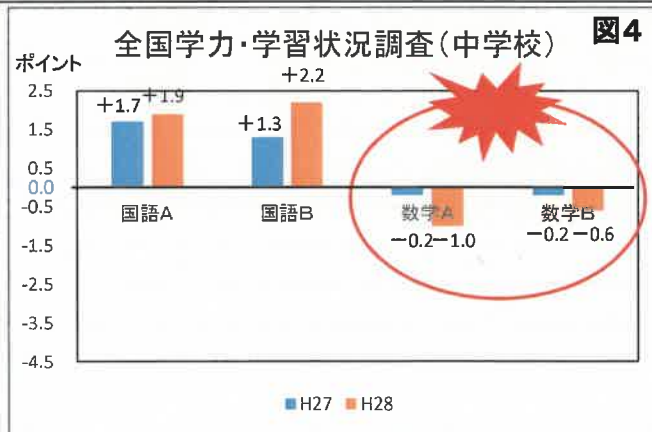
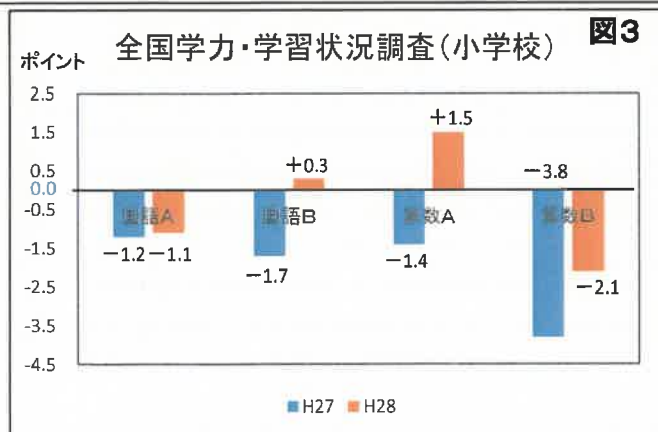
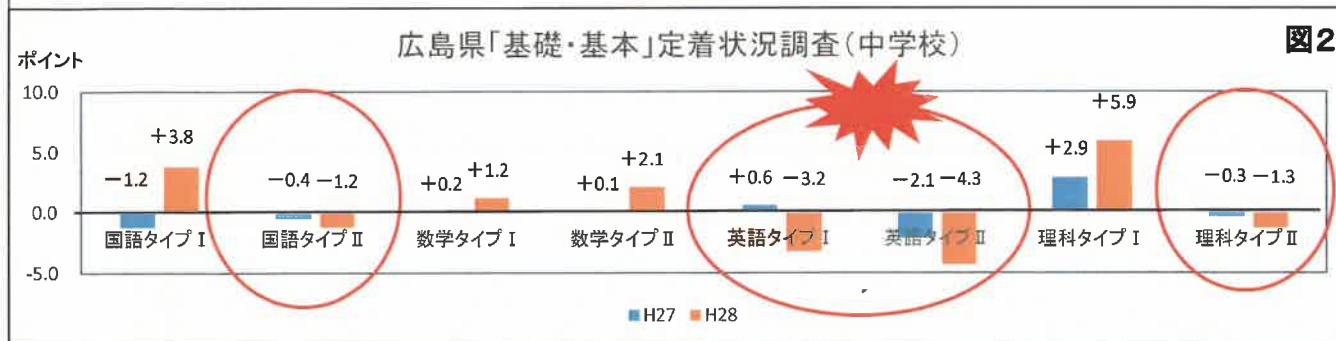
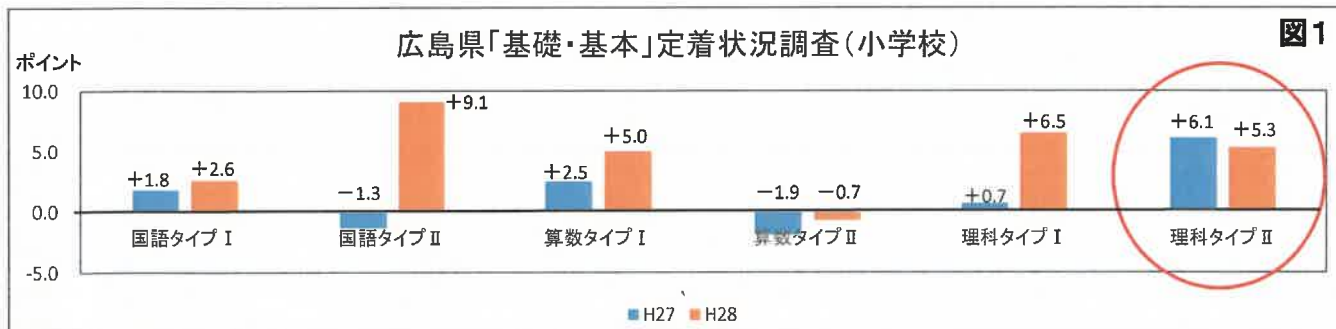


■確かな学力の向上 - 学力向上に関する施策の推進状況

- 平成28年度から平成31年度の4年間を計画期間とした「芸高田市学力向上戦略」を策定し、児童生徒に県内トップレベルの学力を身に付けさせる取組を推進しています。
- 「戦略」では次の4つの施策を重点的に取組んでいます。
 - (1) 各種学力調査の活用
 - (2) 複数校の協働による授業づくり
 - (3) ICTの活用
 - (4) 研修の充実
- 「戦略」では目標値を、「学力調査の県平均+10ポイント」としており、現在の状況は次のとおりです。



- 広島県「基礎・基本」定着状況調査において、県平均比較が昨年度より下回った教科は、小学校は理科タイプ II のみであり、中学校は国語タイプ II、英語タイプ I・タイプ II、理科タイプ II でした。
- 全国学力・学習状況調査において昨年度より下回った教科は、小学校は無し。中学校は数学A・B でした。
- 結果として、平成28年度は県平均比が上昇した項目(教科)は、22項目中16項目の73%、ポイント数の合計は平成27年度が2.2ポイント、平成28年度が31.9ポイントと29.7ポイント上昇しました。
- 基礎的な問題(タイプ I、A問題)、活用的な問題(タイプ II、B問題)ともに昨年度より下回った教科は、中学校英語(基礎・基本)と中学校数学(全国学テ)であり課題が見られます。
- 中学校英語については継続して低下傾向が続いており、喫緊の課題として捉えています。



《安芸高田市学力向上戦略》

郷土を想い 夢と志に向けて ともに学び続ける人づくり

目標：児童生徒に広島県内トップレベルの学力を身に付けさせる

目指す学力1

基礎的な知識及び技能
全国学力・学習状況調査A問題における正答率及び広島県「基礎・基本」定着状況調査タイプIにおける通過率
県平均+10ポイント

目指す学力2

習得した知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等
全国学力・学習状況調査B問題における正答率及び広島県「基礎・基本」定着状況調査タイプIIにおける通過率
県平均+10ポイント

目指す学力3

主体的に学習に取り組む態度
広島県「基礎・基本」定着状況調査における問題紙の学習習慣、学習動機、学習意欲、「課題発見・解決学習」に関する質問事項
平成27年度の回答倍率から
3~20%UP

立志！

活力！

授業づくり

各教科調査の活用
・全国学力・学習状況調査、広島県「基礎・基本」定着状況調査、安芸高田市総合学力調査の結果分析を生かした授業改善

複数校の協働による授業づくり
・小中連携を核とした授業研究の実施
・学習者中心の学びにポイントを置いた、研究協議スタイルの確立

ICTの活用
・ICT機器の整備
・ICTを活用した授業づくり

研修の充実
・市教委主催研修の充実
・授業研究、授業づくりを中心とした研修の実施
・安芸高田教育推進会との連携

協働！ 郷土愛！

(地域の役割)
・家庭や学校を積極的に支援
・地域の子供たちへの積極的な関わり合い など

(学校の役割)
・「生きる力」を育む
・開かれた学校づくりの推進など

協育
郷土に対する
愛護と誇り

(家庭の役割)
・家族の絆を基盤とした「自己肯定感」の構築
・生活習慣、学習習慣の確立
・社会を生き抜くために必要な識など



安芸高田市授業づくり スローガン

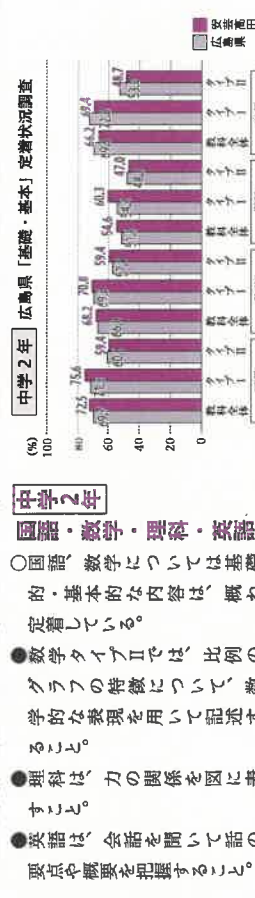
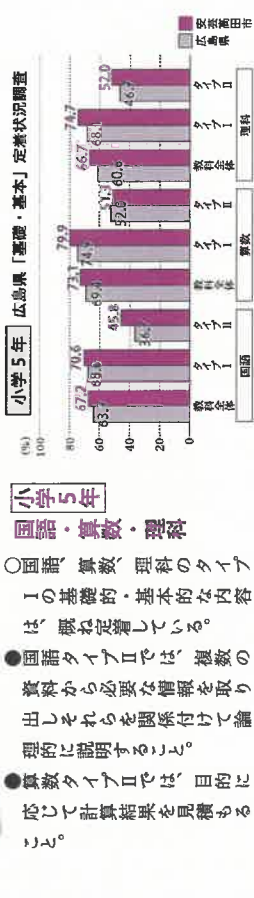
安芸高田市の全ての学校において、全ての教職員がこの「安芸高田市授業づくりスローガン」を確立しながら授業づくりを進めています。

- 本 愛情のある授業をつくります
- 基 基礎・基本を習得し、活用する授業をつくります
- 対 対話し、学び合える集団を育てる授業をつくります
- 考 考えが深まる授業をつくります
- 互 互いに見合い、学び合って授業をつくります

平成28年度実施学力等調査の結果

安芸高田市では、全国学力・学習状況調査、広島県「基礎・基本」定着状況調査を実施しました。その結果から、安芸高田市の児童生徒は、基礎的・基本的な学習内容を概ね身に付けていますが、それを活用する問題（特に説明を要する問題）において、小中学校ともに課題があります。（○成果 ●課題）

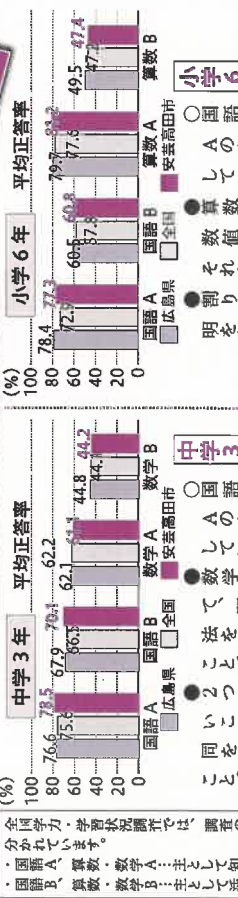
6月7日実施 広島県「基礎・基本」定着状況調査



広島県「基礎・基本」定着状況調査では、調査の種類が次のように分かれています。
・タイプI...教科で身につけておかなければ後の学習内容に影響を及ぼすなどの基礎的・基本的な内容
・タイプII...教科で学習した知識・技能を実生活や学習の様々な場面に活用する力などに係る内容

全国学力・学習状況調査

4月19日実施



全国学力・学習状況調査では、調査の種類が次のように分かれています。
・国語A、国語B、算数A、数学A...主として知識に関する問題
・国語B、算数B、数学B...主として活用に関する問題

※「概ね定着している」とは...平成27年度が60%を超えていること。
※国語標準とは「正答（正しい答え）または標準正答（完全な割りではなく、正答として考えられる答え）であった児童生徒の割合